

ストラヴィンスキー・イブニング

平山素子「兵士の物語」「春の祭典」

中劇場 | 2回公演 ※兵庫県立芸術文化センターにて公演予定

●前売開始:2010.9/20(月・祝)

2010.12/4(土) 6:00 5(日) 3:00

●料金 A:5,250円・B:3,150円

第一部 兵士の物語 (ヴァイオリン、クラリネット、ピアノ用組曲)

演出・振付・美術原案:平山素子

音楽: イーゴリ・ストラヴィンスキー

音楽監修: 笠松泰洋

照明: 小笠原 純

衣裳: 堂本教子

第二部 春の祭典 (ピアノ連弾編曲版)

初演:2008年11月「古楽とストラヴィンスキー」公演

振付・出演:平山素子/柳本雅寛

ピアノ演奏:土田英介/篠田昌伸

芸術選奨新人賞受賞作品の再演に加え 新作『兵士の物語』に挑戦する珠玉のラインアップ

2008年11月新国立劇場で初演された平山素子による『春の祭典』。広いステージで繰り広げられる男女2名のダンサーの、時には息もつかせぬようなダンス。2人のピアノの名手がストラヴィンスキーによるピアノ連弾『春の祭典』を演奏し、徐々に高揚してゆくラストシーンは観客を感動の渦へと巻き込んで行きます。この作品での演出・振付、そして自身のスリリングな演技により、平山素子は第59回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞しました。『春の祭典』の再演に加え、今回は新作『兵士の物語』に挑戦します。



08年11月『春の祭典』



photo: 橋本徳彦

平山素子

Hirayama Motoko

洗練された感性と開拓心を同時に合わせ持つダンサーとして高い評価を得、近年は振付家としても意欲的に活動。2006年『Revelation』をS.ザハロワ(ポリショイ劇場バレエ団)に振付。新国立劇場では『シャコンヌ』『Butterfly』が開場10周年記念公演で再演され、07年『Life Casting 一型取られる生命』では『Twin Rain』『un/sleepless』の2作品を発表し第7回朝日舞台芸術賞、キリン・ダンスサポートを受賞、09年改訂版での再演。『春の祭典』では、平成20年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、第26回江口隆哉賞を受賞。また、シンクロナイズドスイミング日本代表に振付協力し、北京五輪での銅メダル獲得に貢献するなど、日本のダンスシーンをリードする存在である。筑波大学人間総合科学研究科(体育科学系)准教授。